

# 多様な学びプロジェクト

「多様な学びプロジェクト」は、全国で13万人もいる学校外で学ぶ子たちが、  
家以外で気軽に立ち寄れる場をつくる事業です。

ステッカーを掲載、子どもの受け入れ等

ご協力いただける店舗・施設を募集しています！



メインデザイン

ロゴデザイン：ステッカー&缶バッジ

デザインは鳥が子ども、木は立ち寄れる場所をイメージしています。「不登校」というと、暗いとか、残念とか、そんなイメージが付きまといまいます。そのイメージに傷ついて家から出られなくなってしまう子もいます。そこで彼らを「free bird kids: 自由な魂をもった子ども達」と新しいイメージで呼びたいと思いこのようなデザインになっています。詳しくは裏面に。



カラーバリエーションは青・緑・ピンクの3色

ご協力いただける施設やお店（例えば地域の図書館、児童館、塾や教室、プレーパーク、商店、フリースクール、オルタナティブスクールなど）に、『平日昼間に子どもが来てもいいよ』というしるしの、上のロゴステッカーを貼ってもらい「学校外で学ぶ子たち」が気軽に立ち寄れる場をつくっています。現在、川崎市子ども夢パーク、川崎市菅生こども文化センター（児童館）、横浜市の常設プレーパーク6箇所、たつのこのはら保育園、カフェイズミ、沖縄「にじの森文庫」などに協力をいただき活動が広がっていますが、さまざまな地域に活動を広めたいと思っています。

子どもたちはお店に気軽に立ち寄ったり、施設によっては施設を見学したり、そこで遊んだり、工作を実際に体験したりなど、地域の人との交流からいろいろなことを学んでいます。

時間限定でも構いません。学校以外で学ぶ子たちが家以外で気軽に立ち寄れる場づくりにご協力いただける施設・お店がありましたら、ぜひご連絡ください。



プロジェクト URL : <https://www.facebook.com/tayounamanabiproject/>

ご不明点、お問い合わせなどは下記メールアドレス宛にご連絡をお願いします。

【多様な学びプロジェクト事務局】 [futuredesign15@gmail.com](mailto:futuredesign15@gmail.com)（担当：生駒）

# 多様な学びプロジェクト Q&A

## Q. どうしてそういう活動をしているの？

全国で13万人もいる「学校外で学ぶ子ども達」の多くは、フリースペースなどに通わずに、家庭を基盤に育っています。「不登校」ということをネガティブイメージで見られるとその子達の中には外に出られなくなってしまったり、昼夜逆転の生活になったり、引きこもる子や青年達があります。またせっかく外に出ても、街の悪い大人に声をかけられたり、補導される心配を、親がもつ時もあります。また学校に行かないで家で学ぶ『ホームスクーリング（ホームエデュケーション）』を選んだ子達も、家以外で気軽に立ち寄れる場所を求めています。彼らに家以外にも気軽に立ち寄れる居場所を広げるために活動を行っています。

## Q. どんなことを目指しているの？

地域の大人がゆるく見守ってくれ、彼らが安心して外に出られる場所を作りたいと思っています。またそこにいる大人や子ども達との交流を通して、職業体験・社会体験になったり、心をホッと緩ませたり、新しいことに会ってワクワクする好奇心の種が生まれ、新しい学びに繋がることも期待しています。地域の大人にとっても、子ども達が糊になって繋がり合う地域づくりにもなります。また人工知能によって今ある職の数割がなくなると言われている未来社会で、多様な学び方で育った子ども達が、将来イノベティブな力を発揮してくれる可能性にも着目しています。

## Q. ロゴデザインの意味は？ どうして鳥なの？

デザインは鳥が子ども、木は立ち寄れる場所をイメージしています。「不登校」というと、暗いとか、残念とか、そんなイメージがつかまいます。そのイメージに傷ついて家から出られなくなってしまう子もいます。そこで彼らを「free bird kids: 自由な魂をもった子ども達」と新しいイメージで呼びたいと思っています。鳥が止まり木を自由に選べるように、自分の学び場も、あそび場も、居場所も、選べる事が出来る。あなた達の未来は閉ざされることなく開かれているんだよ、理解してくれる地域の人たちはいるんだよ、とこのロゴで伝えたいと思っています。

親御さんや施設やお店の方達には、このフリーバードキッズの止まり木のような存在として、大地に根を張ってこの子たちと一緒に支えて欲しい、そんな想いも込められています。

同じデザインで、子どもが持てる缶バッチも作成しています。

## Q. 甘やかしじゃないの？

夏休み明け、9月1日は子どもの自殺が多い日です。自殺するほどの苦しい思いをしてまで学校に通い続ける、学校に行きたくないために死を選ぶ、それは「おりられない」苦しさです。今の日本の子ども達には、「たとえそこがどんな場所であったとしても、いじめられても、自分の尊厳が傷つく場所でも」学校以外の選択肢が認められていない空気があります。大人でさえ、たとえどんなに合わない場所だとしても、今いる会社を辞めてはいけなと言われてたらどうでしょうか？「苦しいときは死を選ぶのではなく、ロゴステッカーのある場所に行こう」そう子ども達に思ってもらえるような事業を目指しています。法律も応援してくれています。

2016年12月に「教育機会確保法」が制定されました。学校外で育つ子ども達を社会が支援することが求められています。この法律を根拠にこの事業を行っています。